

日時：令和元年7月30日（火）午後1時30分～4時23分

場所：諏訪教育会館 大会議室

1. 開会（原村教育委員会 子ども課長）

諏訪地区教科用図書採択研究協議会委員交代のため、下諏訪町教育委員会北原教育長職務代理から自己紹介

2. 教科用図書採択研究協議会長 あいさつ（原村教育委員会 五味教育長）

みなさん、こんにちは。本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、令和2年度から使用する、次期学習指導要領に基づく小学校用教科書と現行学習指導要領に基づく「道徳」を除く中学校用教科書について選定を行います。

小学校の教科書は、調査研究会から報告された資料に基づき議論をしていただき、委員の総意によって選定していただきます。

そのため、本日は、調査研究会の研究員長、副員長にも出席していただきました。

調査研究員の先生方には、1学期の校務多忙の中、少数精鋭で定められた期間で慎重かつ熱心に調査研究を重ねていただき、報告書を作成していただきました。

選定にかかわるこの研究は、本格的な教科書研究・教科指導の研究の場であり、研究に携わった経験により培った力量を今後の教科指導に繋げていただけることと確信しております。

特に、正副員長の先生方には、調査研究の方向づけやとりまとめ等、大事な役割を果たしていただき感謝申し上げます。

また、小学校において初めて教科としての英語が取り入れられることにより、暗中模索の調査研究となりましたが、充実した議論を重ねていただき報告書を作成いただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

なお、中学校の道徳を除く全教科については、採択を行う年には該当するわけではありますが、5月22日の教科用図書採択研究協議会で確認いただいたとおり、令和2年度一年間だけに使用する教科書の選定については、平成27年度採択における調査研究の内容を活用し、令和2年度の使用教科書を選定することといたします。

いずれにしても、教科書は、子どもたちにとって学習の大事な教材です。

特に新たに教科化された英語及び道徳は、保護者・子ども・地域の皆様から大変注目されております。

子どもたちが、どんな教科書で、どんな学習をし、楽しく学習できて意欲的に学ぶことができるのか、子どもたちにとって極めて重要です。

いずれの教科書もそれぞれによくできておりますので、甲・乙つけがたい難しさもあろうかと思いますが、協議会員のみなさまには学習の主体者である子どもたちの立場に立って議論をしていただき、適切な教科書を選定していただけるようお願い申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 校長会長あいさつ（諏訪小中学校長会長 諏訪西中学校 赤羽校長）

梅雨も明けて一気に暑い日が続いています。各校でいいタイミングで夏休みになったと思います。

昨年は30日耐えたということで熱中症等気になっていたわけですが、今年は少し涼しい夏かなと思っ

ています。

今回の教科書選定のキーワードとして「主体的・対話的で深い学び」となっていて、教科書を見たときずいぶん変わったと感じ、昔の教科書と比べるとビジュアルというか目からの情報が多く、教科書の仕上がりが変わってきていると感じています。各教科の調査研究がそれぞれ行われ、まとめていただきました。私も何回係わったことがあるが、いろいろな業者の教科書が見ることができ、資料の面で今使っている教科書にはない部分もあり非常に勉強になりました。

今回調査研究にかかわった先生方ありがとうございました。今日はその結果の報告がありますが、これからしばらくの間子どもたちの学びを支える大事な教科書になるので、しっかり報告をお願いします。

4. 議事（議長：五味協議会会長）

事務局：それでは、議事に入ります。

この協議会の規約第6条第1項に規定されておりますとおり、本日は、過半数、また、各市町村1名以上の出席がありますので、会議は成立いたします。（委員14人全員出席）

また、規約同条第2項の規定により会長が議長を務めることになっておりますので、五味会長議事の進行をお願いいたします。

（1）令和2年度以降使用諏訪地区教科用図書採択の調査について

ア 事務局から教科書展示会の結果について

議長：始めに、本日のおおよその予定ですが、全体で2時間を予定しております。また、本日の議事録は後日公開となることをあらかじめご承知おきください。それでは、議事に入ります。

「教科書展示会の結果について」事務局の説明を求めます。

事務局：教科書展示会は、南信教育事務所により6月14日～7月4日のうち14日間、諏訪教育博物館で開催しました。

来場者は115人で、アンケートは英語について記載が複数あり、注目度が高かったことが推測されます。教職員からの正式な意見はありませんでした。

調査研究に活用いただくため、各員長さんには7月9日に配布させていただきました。

議長：ただいまの説明に対し、質疑はございますか。（質疑なし。）

イ 調査研究員会から教科用図書の調査報告及び選定について

議長：それでは次に、調査研究員会から教科用図書の調査報告及び選定についての議事を進めます。

まず、各教科研究員会から報告をいただき、質疑・意見交換を行います。

なお、各教科おおむね10分くらいで選定したいので、説明と意見交換は要点をまとめた確に発言してください。研究結果報告の最初か最後に、研究員会としての教科書が最も適切であると判断したか、根拠を示し5分程度で説明してください。

質疑及び意見を述べる場合、事務局がマイクをお持ちしますので、挙手をお願い

します。

それでは、国語からお願いします。国語については国語と書写それぞれ別にお願
いします。

国語 : 報告書の別紙1の3種は、光村図書、東京書籍、教育出版です。別紙2で学校図
書について報告しています。

時間の制限があるため、別紙1の総合所見の一部を説明します。

光村図書は、巻頭に当該学年での学習内容、それまでの既習内容を領域ごとに示
している。それだけではなく重要な内容のキーワードを提起している。段落・山
場・推敲などを明記している。

読むことの領域では、文学的な文書と説明的な文書を明確に分けて示して、学習
指導要領で示された、国語科で育成を目指す資質・能力を的確に捉える工夫が随
所になされている。

各単元のページ構成については、冒頭に着目すると「読むこと」の扉ページでは、
教材文への興味を感知する短文が示されているのに対し、「話すこと・聞くこと、
書くこと」では、どのような内容で学習を進めていけばいいかが示され、領域の
特徴に配慮した構成である。

東京書籍では、国語科で育む資質・能力を「言葉の力」と名付け強制的に示して
いる。巻頭で、当該学年で学習する「言葉の力」として一覧を示し、各単元の冒
頭と末尾でも該当するものを示しており、その単元で付ける力の捉えが曖昧にな
らないように配慮されている。

教育出版では、巻頭にその学年で学ぶことの一覧があるのは前の2種と同じだが、
どのように学びを進めていくかがイラストで示されており、地図のように示すと
ころが特徴的になっている。単元末では「ここが大事」という欄を設け、中心的
な学習内容を示す工夫がある。

別紙2の学校図書では、「国語のカギ」というコラムが特徴の一つで、「物語の最
後一文」「物語の語り手」といった内容を取上げていて児童の視点を広げている。
調査研究会としての考えは、いずれの教科用図書にも様々な工夫がなされ、甲・
乙付けがたいことは言うまでもないが、国語科の学習の特徴を的確に捉えている
と判断できる、光村図書の教科書の選定が最も適切ではないかと考えています。

議長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員 : 私も、教科書を見て光村でいいと思う。

2点教えてください。国語はやはり作品の魅力・作品が持つ力について大事です
のでその点はどうかと。これからは主体的な深い学びがテーマとなるが、新たな
学びの方向性として光村を薦める理由はどうかということを知りたい。

議長 : 関連して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員 : 光村の良さはわかりました。

インターネットの投稿内容を見比べようというものがある。新しい時代にあつた
もので、子どもにとってもインターネットについて積極的に学ぶ意味は今の時代
に合っているが教科書にとっての意味を知りたい。

議長 : 他に質疑はありますか。

協議会委員 : 今の説明に納得をしているが、すべての教科で教えてもらいたい。今どこの会社の教科書を使っているか。その教科書が今回の改定でどう進化をしているか、どういうところに新たに工夫を凝らし更に良い教科書になっているか教えてほしい。

議長 : 他に質疑は。(なし)
何点か質疑がありますので研究員長お願いします。

研究員長 : 取上げる文章は国語の特徴として、「教材を学ぶ」という部分もあるが、「教材で学ぶ」部分は外せないと思っている。そのことで情景描写を学ぶことと登場人物の心情を学ぶことが国語科としては大切で、長い期間採用され、なくなる教材があり、「ごんぎつね」のような教材は作品として魅力があります。

主体的な深い学びについては、報告の一部に触れているが見通しをもって学ぶことが重要視され、どんなふうに学習が進んでいくのか、ということ子どもたちに示すことを各社工夫していて、そこが主体的な学びに繋がっています。

深い学びについては、国語科で培う力は「言葉の力」であるので「ごんぎつね」の「ごん」がかawaiiそうだという感想だけを持つのでは深い学びではなく、そのことがどのように表現されていたのかを捉えなければなりませんので、学びへの誘いについて表現されていると考えます。

インターネットについてですが、光村図書の教科書には新しい学習指導要領で情報の扱いに関する事項が新設され、その教材が最も系統的に掲載されていて、情報をどう使い選択するかがわかるようにできていることが特徴です。

現在使用している教科書は、光村図書です。進化している点として各領域の特徴が分かりやすく「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」のそれぞれの領域でどんな学びをするのか俯瞰できるようになっているところが変わってきている。

議長 : 研究員長からの説明にご意見がありましたらお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、国語について最終決定をしたいと思います。
国語は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。
次に、書写について説明をお願いします。

研究員長 : 報告書の別紙1の3種は、光村図書、東京書籍、日本文教出版です。別紙2で教育出版、学校図書について報告しています。

別紙1の総合所見の一部を説明します。

光村図書は、巻頭及び各单元において学習の基本的な進め方を示しているため見通しを持って学習が進められます。

各单元において、「たいせつ」として学習の要点を示したり、2種類の例を対比的に示したり、親しみやすいキャラクターを用いて運筆のポイントを視覚的に示すことにより、児童の理解を助ける工夫がなされている。また、巻末に「たいせつのまとめ」として各单元で学ぶ内容が一覧でき学習内容を随時確認するうえで有効に活用できる。

国語教科書と連動した教材が各学年に二つ以上設定され、他社に比べて多い設定

で、国語科の学習と一体的に扱うことができ効果的な学習が期待できる。
東京書籍については、文字を整えて書くために理解しておくべき「原理・原則」を「書写のかぎ」と名付け各単元に配置していることがかなり特徴的な点で、教科用図書のサイズを他社に比べ若干大きくして、その部分に「書写のかぎ」を示している。

懸念されることとして教科書をそのまま使うと、児童の机という限られたスペースを用いる場合に、大きなサイズが影響することがある。

日本文教出版については、各単元とも「考える」「確かめる」「いかす」という三つの学習段階を踏みながら、学習を進める構成になっていて、それぞれの学習段階に対応した動物のキャラクターなどを用いて児童にとって親しみやすく、3段階を意識しやすくなっているところが特徴です。

別紙2の教育出版、学校図書については、それぞれに問題解決的な過程を踏んで学習を進める配慮がされ、コラムを用いて学習に関心を持たせる工夫がされている。

各ページに記載したことですが、5社に共通していた文字として毛筆の「道」がありましたので調査研究員会の印象を記載しました。

調査研究員会としての考えは、国語科の学習とより強く関連付けながら学習を進める効果を考えた場合、光村図書の選定が妥当であると考えている。前回使用している教科用図書は、光村図書です。

- 議 長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : 低学年の子、LD で文字を書くことが難しい子がいる。書写の教科書にその点の配慮があるのか。ユニバーサルデザインについて色だとか書体等工夫があれば教えてほしい。
- 議 長 : 関連して質疑がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : 見やすさ、親しみやすさとか国語の教科書との関連も勿論大事だが、版の大きさが違えば子どもは扱いづらいなどもある。
副委員長からも意見を聞きたい。
- 議 長 : 関連して質疑がありましたらお願いします。(なし)
では、副研究員長お願いします。
- 副研究員長 : 各社の教科書を見る中でどの会社もユニバーサルデザインの配慮ができています。
光村図書で特によかったのは「書写体操」で姿勢・持ち方にかかわって体験的に学べる。5社共通の文字で「道」がありますが、東京書籍と光村はとても美しく似ている。各社特徴があり小さいと感じたものなどがあるが、一番すっきりとして美しい光村の書体が良いと感じた。
- 議 長 : 今の回答に対して何か意見があればお願いします。
- 協議会委員 : LD の子どもに対する直接的な配慮はないのか。ユニバーサルデザインとして全体的な学びに関して学びやすくしている点はあるが、LD ということを意識した配慮・工夫が有るのか無いのか。
- 議 長 : その件についてお願いします。
- 研究員長 : 特に一社に限ってそのような配慮があるということではなかったが、どの教科書

を使っても教師側の配慮があれば十分できると思います。

議長：他に意見がありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、書写について最終決定をしたいと思います。

書写は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。

次に、社会科について説明をお願いします。社会科についても社会科と地図それぞれ別をお願いします。

研究員長：社会科については、副員長から説明します。

現在使われている教科書は、東書になります。

副研究員長：社会科で適当と認められる図書は、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社です。

東京書籍の社会科の教科書については、新学習指導要領に則って系統的な単元の配列・構成はもちろんのこと、随所に今日的な課題として災害の内容を取上げていて、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成できるように工夫されている。学習問題や学習計画を立てる部分が具体的かつ丁寧に編集されていて、社会科を専門としない教員に対しても扱いやすくなっていると思われまふ。さらに「見方・考え方」を表したマークが視点ごとに示されているため、問題解決的な学習において学びを深めることができるように工夫されています。

各社に渡ってですが、児童が読みやすいように、ユニバーサルデザインの配慮がみられる。

次に、教育出版についての特徴は、学びの連続性を重視している点だと思います。社会科の教科書は概ね見開き2ページが1時間の授業で学習できるようにできていますが、ほぼすべての見開きページに「この時間の問い」「次につなげよう」を記載し、連続性を重視している点の特徴的でありました。また、自然災害や人権問題などの社会に見られる今日的な課題を取上げて、巻頭に前学年の学習の振り返りや追究を振り返る視点を示し、さらに、巻末で一年間の学習を振り返るなど、追究過程の意識化が図られている。

次に、日本文教出版についての特徴は、巻頭にあると研究会ではまとめました。各学年の巻頭に、その学年で学習する内容や学習を通して身につけたい「社会的な見方・考え方」の記載があり、めざす姿が明示されている。

また、調べ活動や表現活動などの多様な学習活動が例示され、毎時間の学習における観点の明示、資料提示の工夫など、児童が主体的に学習を深めることができるよう工夫されている。

社会科の教科書についてですが、今回調査研究会で結論づけたものは、東京書籍としました。その根拠は、見開きのページを見たときに「社会的な見方・考え方」というものが満遍なく記載されている点、小学校の教科書ということを考えて、社会科を専門としない先生方も使われるということから、社会科で大切にしている単元を繋げる問いで学習問題をつくる点で非常に役立つように編集されています。

- 議 長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : 社会科は、最近の特徴として基本的に資料の用意、自ら取材をしたり大変な教科で、各学級によって現状では非常に差がある。学びの内容・方法など研究授業でもやれば資料等の準備をするが、授業で専門ではない教員もしっかりとした資料を使って学びが深められることが大事で、長い間鍛えられた資料をたくさん持っていることが大事だと思うが他の教科書との比較の中での考えを聞きたい。
- 議 長 : 関連した質疑はありますか。(なし)では研究員長お願いします。
- 研究員長 : ただ今の質問については、東京書籍について主体的な学びを考えたときに、身近な事象の写真や資料が示されて、そこから子どもたちが問を見つけ発達段階に応じて学習問題が作れるような工夫がされている。深い学びについては、「社会的な見方・考え方」についてこの単元では、「この見方・この考え方」を大事にしていきたい部分が示されているので指導する先生にとって、この考え方を子どもたちにこの単元で伝えればいいのかという視点と方向がしっかり示されていることが良いと思っている。
- 議 長 : 他にご意見がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : インパクトがあり興味を持ちやすい資料が充実していると東京書籍をみて思いました。研究員長の説明のとおり学びの道がしっかり示されて、新しい学びの方向を見据えた編集であると感じた。
一点お聞きしたいのは、地域の題材を取上げているが、長野県や諏訪をテーマにしたものはないのか。
- 議 長 : 関連した質疑はありますか。(なし)では、研究員長からお願いします。
- 研究員長 : 特に諏訪を取上げたものは把握していません。
- 協議会委員 : 前はあったと思うが、消えてしまったのか、私も見つけられなかったの。
- 副研究員 : 以前は、坂本養川の堰が取上げられていましたが、残念ながら今回の改定で消えています。
- 議 長 : その他に質疑、ご意見はありますか。(なし)
意見が集約されたと判断し、社会科について最終決定をしたいと思います。
社会科は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。
次に、地図について説明をお願いします。
- 研究員長 : 地図は、現在使われている東京書籍についてであります。テーマ別の資料地図、統計資料等がよくまとめられており、各学年の問題解決のための資料探しが行いやすいようにカラーやイラストを多く使い、地名を表す字の大きさも大きくなっている。3年生から使うことを考えると、発達段階に応じてわかりやすい内容になっていると思う。また、高学年の子どもたちにとっては全科・横断的な学習、例えば外国語・歴史・公民的分野とも関連した豊富な資料が盛り込まれていることが特徴です。
帝国書院については、「地図のやくそくごと」「地図帳の使い方」を重視して巻頭に配置してあることが特徴です。また、自分たちで学んだことや調べたことを地図にまとめ、発表するかの手順が示され地図活用の技能が身につく工夫がなされ

ている。

以上、2社の特徴を掴んだうえで、本委員会としては東京書籍のほうを取上げたいと思います。根拠については、主体的な学びについて児童の学習活動への配慮として、資料に結びついた写真を載せたり、キャラクターによる問題提示や着眼点などの吹き出しを入れたりすることで地図を基に疑問点を追究できるように工夫されている。対話的な学びに関しては、統計資料が非常に豊富にあり帝国書院と比較すると字が大きく見やすさをはっきりしている。最後に、歴史年表や歴史地図・世界地図の関連など多くの分野との関連が勉強できる構成になっている3点の理由から東京書籍と考えました。

議 長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。
協議会委員 東京書籍と帝国については、帝国は地図専門であり地図そのもので勉強ができる。逆に、様々な資料集があり情報過多になり学習の混乱も考えられる。社会科は資料が命であることは確かだが、資料倒れになる心配があるがそのへんはどうか。

議 長 : 関連して質疑はありますか。(なし)
員長お願いします。

研究員長 : ご指摘の資料の多さですが、資料活用の技量からすると地図に載っているすべての資料を使うというより、自分が必要とする資料を自ら探し出し選択し活用する部分を鍛えてることも大切だと考えています。

議 長 他に質疑、ご意見はありますか。(なし)
意見が集約されたと判断し、地図について最終決定をしたいと思います。
地図は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。
次に、算数について説明をお願いします。

研究員長 : 算数については6社ありますが、啓林館、東京書籍、学校図書の3社を適当と認められる教科用図書として上げました。現在使用している教科書は啓林館です。
調査研究員会では、最も適当と考えた図書は啓林館です。

啓林館の最大の特徴として、系統性を重視した単元構成がなされています。算数は各社系統性を大事にしているが、啓林館が最も重視していると判断した。

5年生に面積の学習があり、啓林館は長方形の面積からそれを二分割した直角三角形、一般三角さらに平行四辺形と学習が展開されるが、その他の5社については長方形に続き平行四辺形が先に出てきて、平行四辺形の半分という考え方から三角形の面積の学習に入ります。学習が進んで一般四角形、多角形の面積の学習をする際に、その図形を三角形に分割をして三角形の面積の総和から多角形の面積を求める学習になるが三角形の面積に帰着して、面積を求めるという考え方を大切にしたとき、三角形を基に平行四辺形や図形の面積に展開していく考え方が最も適していると判断をしました。

教科書にQRコードがありそれを読取るとWEBサイトで図式などが見ることができ、啓林館が一番工夫していると感じました。プログラミング学習に対応した学習教材も準備されています。児童の学習活動への配慮では、学習問題の提示に続き「めあて」が示されており、児童が解決に向けた見通しを持って学習に臨める

ように工夫されている。この点は、長野県で特に大事にしている学習課題を授業に位置付ける展開に「めあて」が明記されていることが活用しやすいと思います。今回の改定でどう変わったかについては、数量関係を視覚的に捉える工夫として啓林館では関係図 A と B で A の何倍が B になるのかを示した関係図が取上げられています。他社では、2 数直線図を用いる場面が比較的多く全国学力学習状況調査で、2 数直線図を用いて数量関係を求める問題が近年多く出されていて、それに対応して啓林館の中にもそれに関係した 2 数直線図を用いることが今回改正されています。

東書については、今回の学習指導要領の改定でデータの活用という領域が新設されましたので、様々な今日的な課題を取上げたデータの読解力とか活用力について配慮されています。

学校図書については、児童の学習活動への配慮として「考え方モンスター」というキャラクターを登場させ、算数の学習に必要なことをモンスターというキャラクターで表現し子どもたちが数学的な見方・考え方を意識しながら興味を持って学習に取り組めるように配慮しています。

議 長 : ありがとうございます。まず、説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員 : わかりやすい説明をいただいたわけですが、啓林館の特徴は系統性と数理をととも大切にしている。しかし、数理と系統性は算数の専門性の強い先生であっても見抜けない難しさがある。先ほど面積の求め方について説明していただいたが、「見方・考え方」について教える先生が教科書で数理や系統性に気づけるような点があれば教えてほしい。

議 長 : 関連した質疑はありますか。(なし)
員長お願いします。

研究員長 : 学習指導への配慮として、学習問題が提供され、子どもたちがこんな疑問を持つだろう、こんな考え方で道筋を考えたなら解決に至るだろうというヒントがキャラクターの吹き出しで示され、その中身が算数的な「見方・考え方」に繋がっています。

議 長 : 算数の専門以外の先生にも小学校では授業しますが、その点で副員長どうですか。

副研究員長 : 現行の啓林館の教科書も教師用の指導書があり、授業の進め方と配慮すべきことが書かれていて、参考に授業を進めてもらえばカバーできると思います。

議 長 : そのほかに質疑はありますか。(なし)
意見が集約されたと判断し、算数について最終決定をしたいと思います。
算数は、『啓林館』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『啓林館』を選定することに決定しました。
次に、理科について説明をお願いします。

研究員長 : 理科について 3 社は、信州教育出版社、大日本図書、東京出版です。現在使用している教科書は信州教育出版社のものになります。

小学校の理科の教科書は、どの会社も挿絵や図、表やデータなどでまとめられている。写真については東京書籍が抜きん出ている感じがあるが、理科の調査員全員が信教の写真について長野県内の地域性を活かした写真を使っていて、特に 6

年生の大地のつくりと変化では原村の地層、4年生の水のすがたと温度では諏訪湖の御神渡、湖南小学校の桜など信教ならではの写真が使われている。また、運動会、音楽会、キャンプなど長野県の特徴ある行事がふんだんに使われていて、子どもたちが興味を持ちやすく主体的に学べるように工夫されている。新学習指導要領で多角的な「見方・考え方」友達との関わりから問題解決をすることについて、信教は特に「思い出そう・考えてみよう」などトピックスで視点を与えている特徴がある。まとめの段階で、理科で学んだことをそれで終わらせるのではなく生活に関わらせることで表現力を養うように、まとめているところも信教の特徴となっている。

3社の特徴などを考慮し研究員会では信教を最も相応しいと判断しました。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、理科について最終決定をしたいと思います。
理科は、『信州教育出版社』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『信州教育出版社』を選定することに決定しました。
次に、生活について説明をお願いします。

研究員長：生活科は、生活を豊かにすることを念頭に置き調査研究を行った。8社のうち適当と認めた3社は、信州教育出版社、啓林館、日本文教出版です。現在使用している教科書は信州教育出版社です。

信教は、県内の学校の実践をもとにした編集であり、長野県の児童にとって大変身近で親しみのもてる学びやすい教科書となっている。中でも「いつもの場所」というページで、見開きで自分たちが住んでいる場所で山とか四季を通じて取上げていて、児童の生活圏としての学校と地域から学習が出発している。改定のポイントとしては、中学年以降につながるように「みんなで行こう」として年中行事から学びに繋げている。

啓林館では、各単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されている。児童の意欲を喚起し、思いや願いを高め深い学びができるようにされている。特に「ぐんぐん」では、学んだことを伝え合い、友との考えや体験の交流を行い、振り返りを表現する場面が設置されており、学習したことを次の学習や生活に生かそうとする配慮がされている。

日本文教出版では、児童の表情をとらえた写真・イラストや、思いや気付きが表された吹き出しを多く使用することで、児童の学習意欲や関心を引き出すよう配慮されている。小単元の「学習のめあて」では、友達の話聞いて「自分でもやってみたくなったことは何かな？」と問いかけるものがある。これは自分たちで考えることもでき、教師が育成すべき資質・能力がとらえやすいよう配慮されている。

3社それぞれいいところがあるが調査研究員会としては最初の信州教育出版社のものを使用していきたいと考えます。

理由は、この諏訪、長野県での生活が身近な生活圏と感じられることが大切だと思う。四季がはっきりしていて「夏の暑さは」「雪が積もって」など季節の変化と関わりのある地域の行事が多く取上げられています。それらの学習を通して学び

を深めるとともに、この地で育つということで故郷への愛着を深められるということに工夫がされています。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、生活について最終決定をしたいと思います。
生活は、『信州教育出版社』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『信州教育出版社』を選定することに決定しました。
次に、音楽について説明をお願いします。

研究員長：音楽科の教科書は、教育芸術社と教育出版の2社です。(音楽科の目標について説明)

教育芸術社の教科書の特徴は、音楽を形づくっている要素が明記され、それぞれの学びが深められるように6年間の繋がりを考えた系統的な題材構成がなされ、児童の実態にあった楽曲や音楽活動がバランスよく配置され関心を持って学ぶことができるようになっている。(説明用資料で具体例を説明)

教育出版の教科書の特徴は、音楽を形づくっている要素を明示し、題材構成が図られている。一つの題材の中で、基礎的なものから発展的なものまで複数用意され、主要部分の教材と選択可能な教材を組み合わせることができ、「音楽的な力」で児童が興味関心に沿った学びや、学校毎のカリキュラムへの対応が可能となっている(説明用資料で具体例を説明)

今まで使用している教科書は教育芸術社です。学年間の繋がりを考えた学びができること。資料リンクへとつながるQRコードが記載されており、必要な資料や発展的な資料を補ったり、スムーズにICTの活用につなげて指導ができるように工夫されている。すべての領域において、6年間繋がりを考えて系統的な題材配列になっていて、どの児童にも理解して楽しみながら力を付けられるのではないかとということで、教育芸術社の教科書が適切と判断しました。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、音楽について最終決定をしたいと思います。
音楽は、『教育芸術社』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『教育芸術社』を選定することに決定しました。
次に、図画工作について説明をお願いします。

研究員長：図画工作は、日本文教出版と開隆堂出版の二社になります。調査研究員会の結論としては、現在も使用している日本文教出版の選定が適切と考えます。

理由としては、題材について造形遊びの題材が多く学校現場のニーズが高く実際の指導で題材がたくさんあるほうが、先生方が助かると思います。二つ目として問いかけやリード文などにより、感じたり考えたりできる視点を示し、思考を促す視点が沢山あり、それが生活や社会に生かせるように工夫されている。

学習の流れや児童の意識に沿った写真とヒントが多く、児童の表情の写真で悩んだり考えている表情の写真があり、児童のつぶやきなども多い。また、諏訪郡内の実践として永明小の取組が掲載され、児童にとって身近に感じられます。

学習指導への配慮として、「教科書美術館」が設けられ、アートカードの活用について掲載されています。用具の使い方について、拡大写真を効率的に使って文字

情報を精選し、端的な言葉で表す工夫がされています。児童にも指導する教師にもわかりやすくなっています。

現在の教科書より総じて子どもの思考関係を大切にしていることが進んでいる点だと思います。

次に、開隆堂の教科書の特徴ですが、わかりやすいところです。つける力と振返りの視点が明示されていて、ねらいと評価の一体化が図られるように題材について記載されています。児童が見た時につける力と振返りの視点がどの題材でもわかりやすく、関連した教科がマークにより示されています。題材名の文字やフォントが多くの題材で統一されています。

学習指導への配慮として、題材ごとにQRコードがあり動画などでも資料が閲覧できる配慮があります。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)意見が集約されたと判断し、図画工作について最終決定をしたいと思います。

図画工作は、『日本文教出版』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)全会一致で『日本文教出版』を選定することに決定しました。

次に、家庭科について説明をお願いします。

研究員長：家庭科は、東京書籍と開隆堂出版の二社になります。現在使用しているのは、東京書籍です。調査研究員会では東京書籍が適していると判断しました。

どちらの教科書も新学習指導要領による、生活の営みにかかわる「見かた・考え方」を働かせてという点と、家庭科の目標である家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度が育てられるよう構成されている。

東書の教科書は、「問題解決的な学習」が3ステップの流れになっており、開隆堂は、「問題解決的な学習」を取入れ、なぜするのだろうと課題追究をして学んだことを生活に活かそうと3つの段階で作られています。

(説明用資料で具体例を説明)

東書の教科書には、家庭生活だけではなく学んだことを社会生活に繋げていこうということが、新学習指導要領で取上げられている。どんなことをしたらいいのかということを先生方が迷うとき、具体的に4つの活動が載っていて、地域の人々との関わり、決まりを守って快適に、学校の高学年として、地域の人々と交流など具体的で、家庭科専門の先生ではなく学級担任が指導する場合にもわかりやすく工夫されている。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)意見が集約されたと判断し、家庭科について最終決定をしたいと思います。

家庭科は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。

次に、体育について説明をお願いします。

研究員長：体育は、東京書籍、光文書院、学研、文教社、大日本図書の5社を扱いました。

現行では、東書を使っていますが、最終的に本委員会として東京書籍と考えました。保健では、学習指導要領にそれぞれの単元で課題を見つけ、解決を目指した活動を通して力を身に着ける内容になっている。どの教科書もステップを踏みながら

授業を展開し、課題を見つけ調べたり話し合ったりして自分たちの生活につなげる工夫がされている。

東京書籍は、最初に大きな写真やイラストが掲載され、自分自身の生活を振り返り、健康や安全に対する課題を自分のこととしてとらえることができるよう構成されている。ほかの教科書はチェックリストや4コマ漫画で示されているが東京書籍は、大きな写真で示され課題を見つけやすい工夫がされている。授業の流れが「気づく・見つける」から「まとめる・生かす」の4ステップで構成されており、主体的・対話的で深い学びに対応した学習になるよう工夫されている。一番大きな特徴としては、それぞれのステップで記述欄が大変多くノートや資料を用意しなくても教科書だけでしっかり記述をして思考・判断したことを友達と深め合い表現しやすくなっているところが特徴です。課題の解決に向け、イラストや写真、実験結果、データなど豊富で、交通事故の防止では他社はデータ等がないが東京書籍はグラフがあって事故原因が多いものなどわかりやすく、ステップ1～4の学習活動を枠で囲み、活動場面と本文を明確に区別すると共に、学習順序をわかりやすくレイアウトするなど、インクルーシブ教育への配慮がなされている。5年「けがの手当て」では、胸骨圧迫とAEDについて資料を示し、他社に比べて詳しく防災・安全についての学習が充実するよう工夫されている。

光文書院は、学習の進め方が「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「いかそう」「伝えよう」など、具体的に表示され、見通しをもって学習できる構成となっている。知識・技能が習得できるよう、親しみやすい挿絵やわかりやすい図や表を入れて紙面が構成されている。単元のはじめに4コマ漫画が示され、親しみやすくなっている。

学研は、生活を振り返る中で課題を見つけ、資質・能力を育成できるよう配慮されている。学研は課題をつかむ中でチェックリストを活用して課題を見つけやすいように配慮している。学習内容の補足や発展的な内容を資料として提示し、「かがくの目」のコラムでは、関連する情報を掲載し、児童が学びやすいようにしている。

議 長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。(なし)
意見が集約されたと判断し、体育について最終決定をしたいと思います。
体育は、『東京書籍』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)
全会一致で『東京書籍』を選定することに決定しました。

次に、今回新たに選定する外国語の英語について説明をお願いします。

研究員長 : 外国語の英語については初めての選定で、非常に迷いが多かった。児童の学びやすさと担任が授業をするということ、書くことが導入された面などいろいろな意見が出され、3冊を集約した。

光村図書のHere We Go、啓林館のBlue Sky elementary、三省堂のCROWN Jr.の3冊について説明します。説明資料で同じ場面を比べて説明します。5年生の教科書ですが、「I want to go to Italy」という表現を使って行きたい国を伝え合う場面で、光村図書は各ユニット絵で示され、絵を見ながらこの場面でどんなことを言うのかのやり取りをして、児童一人ひとりが自分の表現と課題をもって各単

元の目標を示して「Hop」「Step1」「Step2」「Jump」それぞれに目標を明記し、教師も児童も見通しをもって学習に取り組むことができる。資料に戻って説明します。教科書の活動順に進めていくと「聞く・話す・読む・書く」の4技能が習得できる構成になっていますので担任が授業を進めやすくなっている。英語を聞く前に、何を聞取ればよいか指示が明確になっている。次がほかの二つと比較したい面で、行きたい国とその理由をたずね合う場面で、Blue Skyだと「自分が行きたい国を言いましょう」と書いてあるだけで、CROWNだと「自分が行きたい国を友達と伝え合おう」と書いてある。Here We Goには「行きたい国とその理由をたずね合い、自分と同じ理由で同じ国に行きたい友達をさがしましょう」というふうに、何で伝え合うかという目的が示されている、自分と同じ理由の友達をさがすための材料が示されている。Here We Goには「さがしましょう」「当てましょう」など、子どもたちが目的をもって意欲的に関心を高める工夫がなされている。また、対話をしながら自分や相手の考えをメモができる欄が設けられ、ほかの教科書ではワークシートなど用意しているがその面でも活動がしやすく配慮されている。書く活動としては、そのパートで慣れ親しみ、なぞることで書いてみるができます。Here We Goの優れた点として、6年生の最終単元で、「I want to 何々」などの表現を使って中学校でやりたいことを思い描くことがテーマで位置付けられている。中学生が説明会で6年生に学校の様子を紹介する場面があり小中連携単元の可能性を含み、中学校でやりたいことを児童が興味・関心を持つ意味で最後に考えられた単元となっている。

以上のように子どもたちが意欲的に学べるように工夫されていて授業が展開しやすい配慮もなされている面でこの教科書が優れていると思います。

Blue Skyについては、スモールステップで、見開きで学習が進められ、自己評価を大切に学習が進められることで「学びに向かう力」を高められる。アルファベットが大きな山となるが、慣れ親しんだ単語の一部を、アルファベットを書いてみて、音と文字を一致させながら段階的に学習を進めるように配慮しています。各パートのチャンスコーナーでは、キーとなる基本文がアクセントとともに示されており、どの部分の言葉を入替えるか、わかりやすくしています。

三省堂のCROWN Jrについては、学期を目安に、「Hop」「Step」「Jump」の大単元が配置され「Hop」で見通しを立てて、複数のレッスンから構成される「Step」で基礎的な知識・技能を習得しながら「Jump」で課題解決型単元に取り組みながら活用して定着を図っていく考え方が特徴となっている。「Jump」の中で2回表現場面が設定され、1回目の課題をもとに表現を磨いて2回目のチャレンジをすることで児童が学習しやすく力がつく展開に配慮されています。「Step」の各ページにSound Chant, Word Chantの活動が位置づけられ、毎時間扱うことで英語の音や語句に慣れ親しむ配慮があります。各レッスンの中に絵や場面を手がかりにまとまったお話を聞くStory Enjoy listeningなどの活用が用意されていて文脈のある英語に触れられる配慮もされています。

それぞれ良さがありますが、調査研究員としては、光村図書のHere We Goが最も適切であると考えます。

- 議 長 : ありがとうございます。説明に対して質疑がありましたらお願いします。
- 協議会委員 : 教科書は、子どもの視点も大事ですが、もう一つ伝統的なものも大事です。伝統の重さということも大事になります。今回新しい会社で信頼性があるかどうか
- 議 長 : 関連して質疑はありますか。
- 協議会委員 : 英語の教科書をいろいろ見て、自分が指導する場合どれが一番指導しやすいか、子どもの使いやすさも当然大事ですが、担任が指導するということで、これだったら子どもに楽しく指導できそうだという点で、光村は一步抜きん出ていると感じた。どの教科でも新しく QR コードが多用されています。光村の良さは単元のところで単元ごとに付いている。他はまとめて別のところにあたりする。これは、子どもや教師だけではなく、QR コードが家庭と学校を繋ぐ大事なコンテンツになるのかなど、子どもがどんな勉強をしたのか家で親として見ることができ、一緒にやってみることもできる。本日も保護者代表も来ていますが QR コードが家庭での学習で可能性のあるものでその面でも光村の扱いが非常に良いと感じた。
- 協議会委員 : 子どもにとっての新しい教科書ということで、小学生のわかりやすさということが一点、覚える単語の量的なものも含めて 3 社のうち光村を推薦しているが、子どもの意欲にかかわる部分で特徴を教えてください。
- 議 長 : 関連して質疑はありますか。(なし)
3 人の協議会委員の質疑意見について回答をお願いします。
- 研究員長 : 最初の歴史的な重さについては、正直どう申し上げていいかわかりません。中学校で現在 CROWN を使っていることは研究会でも検討をしましたが、先ほど担任が授業をという部分で、担任が準備をしたり、どんなふうに進めようかというときに、小学校の先生方が難しさを感じると言っていたことは確かで、中学の教科書として、HORIZON と CROWN を使っているところが多く、その伝統的な重さというものから考えると、光村の実績については研究会としてお答えできません。QR コードについては、動画を見ることもできるし、音声のリスニングも含まれていて、家庭学習にもつながると感じています。子どもの意欲ということでは、クリル (CLIL) ほかの教科と言語教科を結びつけることで、子どもたちが学習したり興味を持ったり、ほかの教科で学習した内容と言語活動を合わせてということも考えられます。
- 副研究員長 : 伝統の面でいうと、東京書籍の NEW HORIZON と三省堂の NEW CROWN が抜きん出ていますが、子どもの学びやすさと、教師としてこの教科書なら子どもたちに伝えやすいということで考えたとき、伝統ある各社の教科書は、やや中学校寄りだと員会で判断しました。(説明用資料で具体例を説明)
単語の数については、600 語に慣れ親しむということになっています。
光村書籍の Here We Go の編集にかかわっている方は、英語教育界で力が非常に強い先生方です。
- 議 長 : 丁寧にお答えいただきありがとうございます。
他に、質疑・ご意見はありますか。(なし)
外国語 (英語) につきまして、研究会からの報告及び協議会員のご意見を判断すると、委員全員の意思が一致しないと判断しました。

協議会規約の第10条第1項で、「委員全員の一致によって教科用図書を選定する。」と定めております。同条第3項では、「協議が調わない種目があるときは、委員による投票を行い、過半数の投票を得た教科用図書を選定する。」と定められております。

外国語（英語）は、投票を行いますが、ご異議ありませんか。（異議なし）

異議がないと認め投票を行います。事務局が投票用紙を配布します。投票は無記名で行います。投票用紙に「発行者の番号・略称」を記入してください。

現在議長を除き10人の委員が会場にいます。投票の結果同数だった場合には議長が協議の経過を勘案し決することになっています。

投票用紙を事務局で回収して集計をし、結果の報告を求めます。

事務局：投票結果を報告します。

投票総数10票、有効投票数10票、『38・光村』9票、『2・東書』1票です。

議長：投票の結果、外国語（英語）は『光村図書』を選定することに決定しました。

次に、道德の説明をお願いします。

研究員長：道德は全部で8社あります。選定のポイントとして、教科書プラス学習ノートがセットされている会社が3社あり、学習ノートの使いやすさも判断したが結論としては、学習ノートがあることでそれに縛られてしまうことが懸念されるなどの理由で、学習ノートがセットになっている教科書は、使いにくいという結論に達した。挿絵が道德では命になるので、挿絵が資料のイメージと内容にあっているかを吟味しました。例えばお母さんが出てきてその表情が前提に相応しいかどうかなどを吟味した。少女漫画に出てくるようなタッチが多い教科書なども吟味して最終的に残った教科書が、光村、東書、光文です。

光村については、資料の原点に忠実で言葉を大事にして、細かいところまで吟味した資料を使用していること、発問が非常に優れていて道德が堪能ではない教員にとってもやりやすく、ねらいが大きくずれない授業が成立することが特徴です。東書については、バランスの取れた教材が配置されています。他の教科書で10数ページの資料でも、コンパクトになっていて叙述を簡略化した表現等手を加えシンプルにした資料が多い。いじめ問題については、「とびらページ」「直接的教材」「間接的教材」と3つのユニットで構成されていて、じっくり考える配慮がされている。

光文については、8社のうち2番目に大きいサイズで大きくてわかりやすいサイズになっていて、行を示す表示と下に吹き出しで発問がありわかりやすい配慮がされている。

この3社でどの教科書を委員会として推すかということですが、光村を推したいと考えました。現在使用している教科書は東書です。現在の教科書とは変えて光村に変更したいと提案します。

理由は、光村はいじめ問題に真正面から向き合っています。他社は人権教育というねらいで扱っていることが多いです。また、話合いの観点を示し友達とのかかわり方などを発達段階に応じて体験的に学ぶことができるように工夫されています。キャラクターの吹き出しの形で日常生活を振り返るような言葉が自然に課題

をもって資料に出合うことができるようになっていきます。非常に練られた発問で3つの発問で最後に日常生活や自分の今後の生き方に繋がるような発問を用意している点が優れている。QRコードが付いていてプロの朗読家が読んでいる場面が出てくるように工夫されています。

議長：ありがとうございました。説明に対して質疑がありましたらお願いします。

協議会委員：一年間東書を使って、光村に変えるという大きな決断だと思うが、見やすさとか行間の問題があったが、今日の説明では読みやすくなったということだが、光村、東書それぞれのこの一年間で大きく変わったところがあったのかどうなのか。光村を結論づけた背景を一言でいうと何か。もう一度お聞きしたい。

議長：関連して質疑はありますか。(なし)
員長、回答をお願いします。

研究員長：光村は、8社のうちサイズが一番小さかった。今回1センチ横幅を広げ見開きにすると2センチ違い、綴じ方の製本と印刷面積の関係で開いたときに大きく印刷でき、字体を変え行間を広げ、小さいけど小ささを感じない大改正がされた。東書は、2教材程度各学年で差替えになっていて、挿絵が少し変わっています。車で言えば「マイナーチェンジ」が東書で、光村は「フルモデルチェンジ」で大幅な改正をした。東書が悪いのではなく「フルモデルチェンジ」した光村が、より良くなったと判断した。

議長：よろしいでしょうか。

協議会委員：手に取った感じもだいぶ違い、タイトルのつけ方から色でユニットを分け、ここではどういう学びなのかユニット化しているなど違いを感じた。「フルモデルチェンジ」したということで、作品の力強さのうえでも光村がグレードアップした感じを私も受けた。

今まで話題にならなかったことですが、他の地区がどんな教科書を選定しているかですが、先生方が異動するものですから関係するわけで、他の状況が詳しいわけではないが、光村が長野県では多く今回このような結果で迷うところもあるがみなさんのご意見を聞きながら判断したいと思います。

議長：その他に質疑・ご意見がありましたらお願いします。

協議会委員：「マイナーチェンジ」の東書の教科書は、よく使った教材でやりやすさがあり、「大チェンジ」した光村の教科書は、新しいものがかなり入って秀でたものがあるのではないかと、いろいろな見方はあるが今回は、員会の判断として光村でいいと思う。

議長：その他に質疑・ご意見がありましたらお願いします。

協議会委員：私も、今の意見を大事にしたい。教科書を読ませていただき読み応えがあると思った。ただし、短期間で教科書が変わる点では、先生方がどう考えるのか。読み物ということでさほど影響はないと思うがその点は員長さんどのように考えましたか。

議長：員長をお願いします。

研究員長：今年まで使った教科書が変わるということは、調査研究員会で大英断の結論を出したと思っています。東書の場合は発問が200問で、光村は資料のはじめにキャ

ラクターの吹き出しで3つに複数発問としています。日常生活に繋げる発問があることによって、道徳が苦手な先生方にも授業がやりやすくなり、ねらいから大きくずれない授業ができるだろうということで、教科書が変わる混乱より、より指導しやすい教科書になったことで授業を進めやすいと思います。

議長：他に質疑、ご意見がありましたらお願いします。(なし)

意見が集約されたと判断し、道徳について最終決定をしたいと思います。

道徳は、『光村図書』を選定しますがよろしいでしょうか。(異議なし)

全会一致で『光村図書』を選定することに決定しました。

小学校の全教科について、協議会としての判断ができました。報告をいただきました調査研究員会の先生方、慎重にご判断いただきました協議会員のみなさまありがとうございました。

それでは続いて、『中学校の「道徳」を除く全教科について』事務局の説明を求めます。

事務局：中学校の教科用図書につきましては、道徳を昨年度採択いたしました。

文部科学省からの採択事務処理についての通知では中学校の教科書採択について、採択を行う年には該当するわけではありますが、平成30年度検定において新たに合格した図書がなかったため、基本的に前回平成26年度検定合格図書から採択を行うこととなることから、この4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等を活用することも考えられることが通知されています。

長野県教育委員会では、4月11日に開催した第1回教科用図書選定審議会において、文部科学省の通知のとおり対応することが確認されております。

会議の冒頭、会長の挨拶でもふれましたとおり、中学校用の教科用図書は新学習指導要領による新しい教科用図書の採択が来年度となります。

従いまして、5月22日の教科用図書採択研究協議会で確認いただいたとおり、令和2年度一年間だけに使用する教科書の選定については、平成27年度採択における調査研究の内容を活用し、令和2年度の使用教科書を選定すること出席委員全員の一致により決定いただいております。説明は以上です。

議長：「道徳」を除く中学校用教科書については、前回の会議で確認いただいた事項について、事務局から説明をさせました。質疑等ありますか。(なし)

(2) 市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について

議長：それでは、次に「市町村教育委員会における採択報告及び情報公開について、事務局の説明を求めます。

事務局：それでは、採択と採択結果の報告について確認させていただきます。

協議会規約の第11条で「協議会の会長は、教科用図書を選定したときは、採択地区の市町村教育委員会に対して、選定した教科用図書の種類及び当該教科用図書を選定した理由を報告する」と定めております。

この報告については、特段文書をもって行いませんので、本日の協議会の選定結果を持ち帰り、協議会規約第12条の「市町村教育委員会の行う教科用図書の採択」

の規定により、各市町村教育委員会において8月6日（火）までに採択を行っていただき、資料にあります報告書により協議会事務局であります、原村教育委員会へ報告をお願いいたします。

また、採択結果が出次第、事務局職員の皆様にはお手数ですが、メールにて速報も入れていただくようお願いいたします。

協議会規約第13条の「議事録及び資料の公表」につきましては、事務局が全市町村の報告を受け、採択事務の完了を確認できましたら、各市町村に連絡いたします。それ以降、各市町村における採択の公表は、それぞれの市町村のご判断で行ってください。また、協議会、研究員会の開催経過、資料等、協議会としての公表は、協議会事務局であります原村教育委員会が一括して行います。

協議会、研究員会に関する部分の公表については、事務局にて協議会議事録を作成し、原村教育委員会のホームページ上において公表します。

なお、今後の静ひつな採択環境を確保するために、協議会長を除く採択研究協議会構成員及び調査研究会研究員の名簿については公表せず、議事録においても発言者の氏名は記載しないこととします。

各市町村の公表に際しましては、協議会に関することは原村教育委員会で公表されていることを表記するか、各市町村の公表サイトにリンク設定をしていただく等の対応をお願いいたします。

最後に公表の時期ですが、議事録作成・確認の時間を考慮し、また県下の各採択地区の状況から採択の期限である8月31日以降とし、9月2日を予定して準備を進めていきたいと考えております。説明は以上になります。公表についてご協議いただきますようお願いいたします。

議長：協議会規約第11条「選定した教科用図書の報告」第12条「市町村教育委員会の行う教科用図書の採択」第13条「議事録及び資料の公表」の規定により説明をさせました。

協議会、研究員会に関する部分の公表については、議事録も合わせて9月2日に原村のホームページでの公表を予定します。

説明に対して質疑等ありますでしょうか。（なし）

（3）その他

議長：それでは、最後にその他として何かありますか。（なし）

議長：それでは、以上で議事は終了でございます。

本日、教科書の選定にかかわり慎重かつ誠実に議論いただきましたことに感謝申し上げます。今後、各市町村において、今日の結果を踏まえ、先ほど事務局から説明があった日程にて採択事務を進めていただきますようお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。

5 閉会（原村教育委員会 子ども課長）

事務局：それでは、これもちまして、諏訪地区教科用図書採択研究協議会並びに諏訪地区教科用図書調査研究会合同会議を閉会とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

